

テクスパン工法

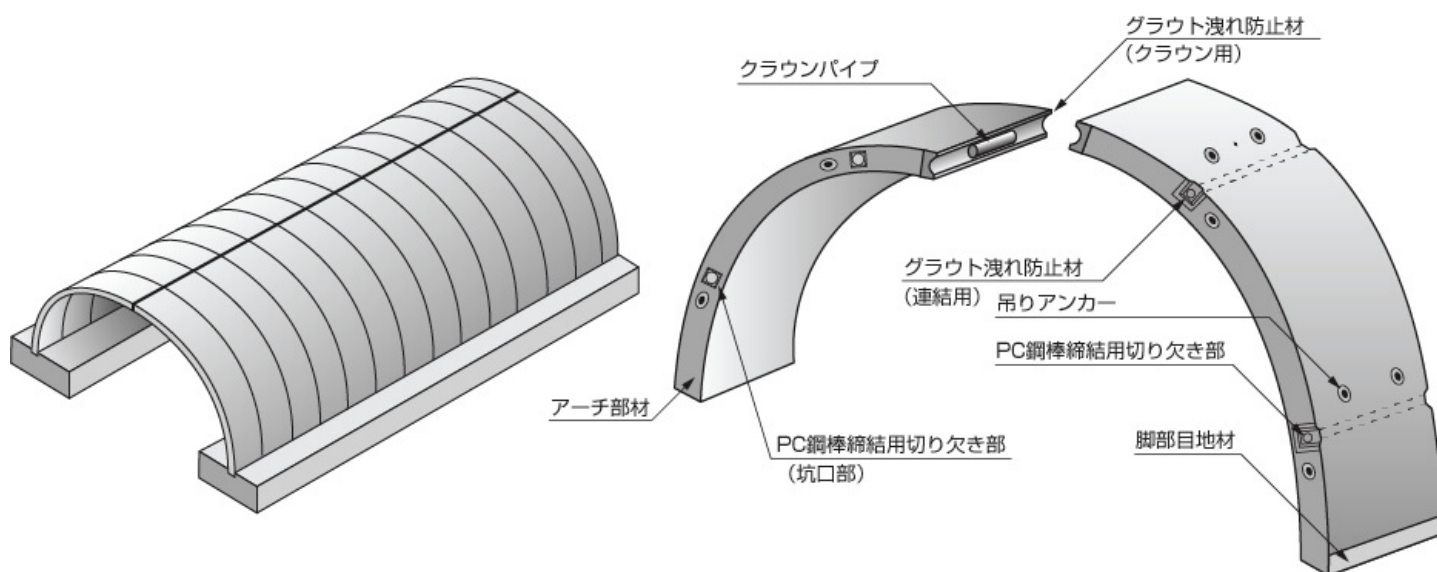
NETIS

No.CB-980117-VE

掲載期間／2017年4月まで

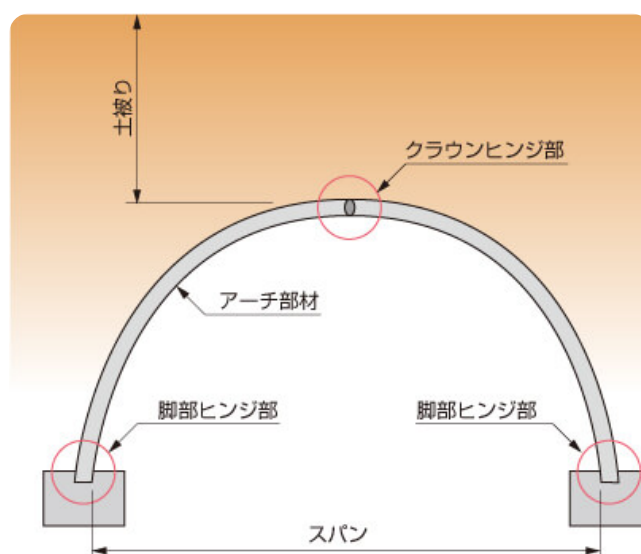
特長

- テクスパン工法は、アーチ（フニクラー・カーブ）構造を3ヒンジで構築する工法です。
- アーチ部材は、左右交互に1台のクレーンで簡単に設置できます。また、支保工は必要とせず、熟練工も不要です。
- ウイング及び頂部壁は、テールアルメ工法により施工されますので美しいデザインとなります。



構造《3ヒンジ》

3ヒンジとは、部材結合方法の一種であり、部材応力（垂直力、水平力）のみ伝達し、モーメントは伝達しない構造です。テクスパンアーチは基礎部に2ヶ所、クラウン部に1ヶ所ヒンジを持つ3ヒンジアーチです。3ヒンジアーチは固定アーチ、2ヒンジアーチ等と比較して一般に部材断面を小さくすることができます。また、静定構造となるため、設計計算による応力と実応用との差が少ないなどの利点があります。



スパン	土被り
7m~20m	1m~20m



施工例



■石川県一般県道荒木原町線 施工延長14m (11,000 x 4,800)



■近畿自動車道敦賀線 高浜トンネル東工事 施工延長138m (6200 X 3700)

